

ふくしま

(題字：福島中学校3年生 平野 朱葉 さん)

第128号

令和2年12月1日発行

議会だより

発行：福島町議会

TEL 0139-47-2215

秋深まる千軒岳を望む

写真提供：福島フォトサークル

■ 定例会9月会議	P 2	■ 常任委員会レポート	P 13
■ 議員表彰	P 3	■ 選挙公営ってなに？	P 17
■ 決算審査特別委員会	P 4	■ 連合審査会レポート	P 18
■ 文書質問	P 6	■ 諮問会議答申	P 19
■ 一般質問	P 7	■ 議会による行政評価	P 20～
■ 議会費の使われ方	P 9	■ 町民の声	P 26
■ 採決態度	P 10	■ 議員の雑感	P 26
■ 会議等出席状況	P 11		

ふくしま

福島中学校3年生 鈴木 星冴さん

ふくしま

福島中学校3年生 竹村 涼太さん

ふくしま

福島中学校3年生 鳴海 空さん

ふくしま

福島中学校3年生 新山 真鈴さん

ふくしま

福島中学校3年生 船尾 凛さん

定例会9月会議

令和元年度各会計決算を認定！

定例会9月会議は、9月16日から18日まで開会されました。

会議では、条例の一部改正、計画の変更、各会計補正予算・決算認定など町長提出の22件を審議、いずれも原案のとおり可決し、2件の報告を受けました。

また、議会提案の意見書3件を可決し、一般質問では、5名の議員が、5項目について、町の対応や考え方をたてました。
参画者は2名でした。

条例の一部改正

○職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

人事院規則の一部改正に伴い、新型コロナウイルスから町民の生命・健康を保護するために緊急に行われる作業等に従事した職員に対し、特殊勤務手当を支給するための改正。

○町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
町営住宅の空室増加解消と、新規入居者の確保を目的に、入居収入基準額の上限等を改正。

計画の変更

○第5次総合計画の変更

新規事業や事業費等に変更が生じたため、総合計画を変更しました。

変更後の総事業費は55億7,090万円です。

規約の変更

○北海道市町村総合事務組合規約の変更

○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

構成団体の減少に伴う規約の変更。

補正予算の内容

○一般会計補正予算(第5号)

○国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

○介護保険特別会計補正予算(第1号)

○後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

○浄化槽整備特別会計補正予算(第1号)

○国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)

○水道事業会計補正予算(第2号)

令和元年度決算繰越金等による各会計の補正額等は左表のとおりです。

単位：千円

会計名	補正額	補正後 予算総額
一般会計	267,850	4,643,859
国民健康保険	4,119	778,894
介護保険 (保険事業勘定)	20,349	549,219
後期高齢者	55	69,555
浄化槽整備	6,108	51,878
国民健康保険診療所	145	84,976
水道事業	△161	322,524
計	298,465	6,500,905



白符地区の危険木除去



学校へ備蓄するマスクとフェイスシールド等

補正予算で
議論された事業

報 告

○令和元年度財政健全化判断比率の報告

令和元年度決算による財政健全化判断比率の報告。

○令和元年度教育に関する事務の管理、執行状況の点検・評価に関する報告

令和元年度教育委員会部局の事務事業評価について報告。

同意・諮問

○教育委員会委員の選任

成田倫与氏の選任（再）に同意。

○人権擁護委員の推薦

澤田裕利氏を人権擁護委員（再）として、適任であると答申。



議会提出の意見書

意見書3件を可決し、関係機関に送付しました。

○松前半島道路の整備促進を求める意見書

松前半島道路の早期整備を求める意見書。

○国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

道路整備の推進や管理の充実・強化を求める意見書。

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

感染症対策に伴い厳しい財政状況が予想されるため、令和3年度の地方財政対策強化を求める意見書。

※意見書本文は、議会ホームページに「議会提出議案」として掲載しております。

佐藤議員・平沼議員 北海道町村議会議長会より表彰

佐藤孝男議員と平沼昌平議員がこの度、北海道町村議会議長会表彰規定（議員25年以上・議員15年以上）により自治功労者として表彰されました。

定例会9月会議の開催前に溝部議長より表彰状が伝達されました。



議員25年以上表彰の佐藤孝男議員



議員15年以上表彰の平沼昌平議員

総額 55億730万7千円

(単位：千円)

令和元年度各会計決算額	会 計 名		歳 入	歳 出	差 引
	一 般 会 計		3,956,579	3,866,720	89,859
	特 別 会 計	国民健康保険特別会計	788,879	775,941	12,938
		介護保険特別会計 (保険事業勘定)	552,188	536,594	15,594
		介護保険特別会計 (サービス事業勘定)	1,387	1,387	0
		後期高齢者医療特別会計	66,321	66,265	56
		浄化槽整備特別会計	42,374	42,374	0
		国民健康保険診療所特別会計	87,963	83,220	4,743
	水 道 事 業 会 計		145,693	134,806	10,887

令和元年度決算審査は、定例会9月会議で平野隆雄委員長ほか8名（議長を除く）の議員により構成する「決算審査特別委員会」を設置し、9月17・18日の2日間、一般会計を含む7会計について審査、各事務事業に対して質疑・意見交換が行われました。

総務費

問 ふるさと応援基金ポータルサイトの内容と寄付に対する返礼割合はどの程度か？

答 昨年度はふるさとチョイス、楽天ふるさと納税の2つを利用し、今年度は新たに全日空のサイトを追加し、70品目以上の返礼品を掲載し



【ふるさと納税】福島県産 エゾシカの角 (中サイズ) 15,000円 送料別
150ポイント(1割)
39ショップ
北海道福島市



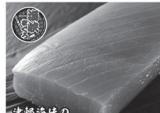
【ふるさと納税】【数量限定】いわとんぴの詰合せ 40,000円 送料別
400ポイント(1割)
39ショップ
北海道福島市



【ふるさと納税】北海道産 網走の蟹 5個入り 20,000円 送料別
200ポイント(1割)
39ショップ
北海道福島市



【ふるさと納税】いわとんぴの詰合せ 10,000円 送料別
100ポイント(1割)
39ショップ
北海道福島市



【ふるさと納税】福島県産天然本マグロ 750g 33,000円 送料別
330ポイント(1割)
39ショップ
北海道福島市



【ふるさと納税】純米大吟醸「横綱の酒」720ml 12,000円 送料別
120ポイント(1割)
39ショップ
北海道福島市

ポータルサイトへ掲載されている福島町の返礼品

ている。返礼割合は3割以内となっている。

問 ふるさと応援基金でマグロも返礼品に加えているとのことだが、どのような内容か？

答 今年から仙台の仙台水産という福島町の海峽マグロを取り扱っている会社と協議し始めたが、現在はマ

グロの状態があまり良くないことから掲載を止めている。

衛生費

問 道南ドクターヘリの運航に関して町では予算面の関与のみという説明だったが、消防とタイアップして何かできないか？

(杉村志朗議員)

答 救急搬送した段階で救命士などが急ぐと判断した中で医師と相談しながらドクターヘリを要請する。現場の専門的な判断で要請するもので、町民の健康増進は別に保健師や健康づくり推進員などが行う。

農林水産業費

問 製氷貯氷施設の売り上げに占める遊漁の利用割合が高いと聞く。今年の状況はどうか？

(花田勇議員)

答 氷の売り上げだけ見ると、8月で比較すると平成30年が42t、去年は63t、今年は58t中であつた。イカ漁・マグロ漁を目的に計画数量が55tだったが、不漁の割に計画数量を上回っている。ただ、遊漁の部分の氷購入を規制することはできない。

問 これまで実施した治山施設の老朽化等チェックを行つてはどうか？
(川村明雄議員)

答 町内会要望時や直接連絡が来たときでも現場確認している。

西部森林室管理の施設についても相談があれば、こちらから連絡をし、西部森林室で来なければ、町で写真などの情報提供をしている。

■教育費

問 福島中学校の楽器整備事業について、部員は

何人いるのか？また小学校に吹奏楽部はあるのか？
(藤山大議員)

答 福島中学校の吹奏楽部員は15名、小学校に吹奏楽部はない。昔は、小学校も金管バンドがあり幅広く活動していたが、現在は、中学校から始める方がほとんどである。

■財産

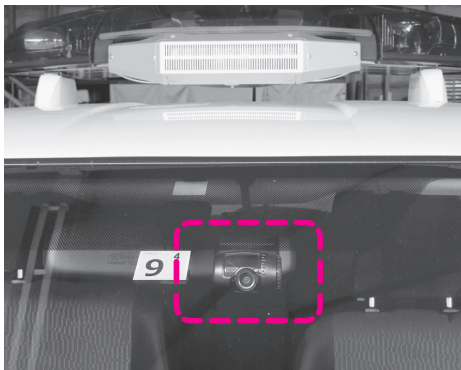
問 公用車のドライブレコーダー整備状況は？
(佐藤孝男議員)

答 ほぼ全車に前方撮影のドライブレコーダーを付けており、昨年度購入車からは前後とも整備している。あおり運転ばかりでなく、事故等があった場合も、かなり割合が変わってくると聞いている。

■国保会計

問 高額療養費の内容・推移、分析結果は？
(平沼昌平議員)

答 令和元年度の件数では、1位が大腸がん、2位が慢性腎不全、3位が統合失調症、4位が胃がん、5位がすい臓がんとなっている。以前は胃がんが多かったが、減塩運動やABC検査などの取り組みにより減少している。大腸がんや糖尿病も食文化を見直すことが大事であり、住民の方々の健康データを共有し、三師会などと連携しながら、町立診療所があるとい



公用車へ搭載されているドライブレコーダー

う強みを生かして取り組んでいきたい。

■水道会計

問 簡易水道移行の成果が今回の決算で明らかになっていると思うが、簡易水道移行時の経済福祉常任委員会意見（水道料金の見直し）の検討状況は？
(溝部幸基議長)

答 財源の有利なものを選択というところで、簡易水道に移行し、スタートしたばかりであり、令和6年には支出が収入を上回るシミュレーションとなっていることから、今すぐに料金改定作業に着手することは考えていない。ただ、現在の料金体系が青函トンネル工事時代の体系をそのまま維持してきているので、令和2年度決算を見て、その先の推計を立てながら、令和3年度の後半ぐらいにしっかり議論できるようにしていきたい。

新型コロナウイルス感染症対策（新生児への給付）について

【質問】

感染症対策として、新生児への給付も可能となったが、特別定額給付金の対象となる基準日（4月27日）の翌日以降の予定出生数は、何人になっているのでしょうか。

当町には出生祝い金などの制度もありますが、今般の対策はあくまでもコロナに対しての安心安全対策を図る意味でも国の地方創生臨時交付金にて、新生児にも10万円を支給する方向での検討を戴きたいと思います。

【回答】独自の給付金ではなく妊婦さんの支援制度を設ける

特別定額給付金の基準日以降に生まれた方は、7月29日現在2人で、12月末までに8人が出生の見込みとなっております。

給付金の制度設計は、一定の要件、基準・期限等を設けて実施しなければならないものと考えており、町として独自の給付金支給は考えておりません。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に不安を抱えながら出産された方や、これから出産を予定している妊婦の方々に安心して出産・子育てができるよう新たな支援制度を設けて地方創生臨時交付金にて対応してまいりたいと考えております。

岩部地区への公衆トイレ整備・浦和地区トイレの修築計画を

【質問】

岩部地区にはクルーズ乗船のお客さんだけではなく、自然の秘境を求め一般車両が多く訪れており、地区住民からトイレの必要性を訴える声が大でありました。

浦和地区でも民家にトイレを借りに来る人たちもおり、この実態を考慮すると、浦和地区のトイレも利用されるよう表示や修築を図って行けたら、より良くなると思います。

せめて簡易トイレの設置対応を願うものであります。

【回答】岩部地区の振興を計画する中で協議していく

近年、岩部地区では、漁船の利用や海水浴での利用はほとんどない状況が続き、浦和地区も同様の状況になっており、老朽化と合わせ当初の役割を果たしたものと判断し、本年度解体することといたしました。

岩部地区は、クルーズ船運航に伴い漁港の利用者も増え、建設会社が作業員用に一時的に設置した仮設トイレを、女性客が中心に利用しており、今後岩部地区の振興を計画する中で協議してまいります。



今年度解体した浦和公衆トイレ
(昭和54年8月建設)

国民健康保険の減免問題について

【質問】

離職者が当町に転入し、前在住市では減額措置が施されて納付をしていたが、当町の減免措置の適用に当てはまらないとの担当課の判断に至りました。国民健康保険税条例第26条第1項の「町長において必要があると認めるものに対し税を減免する」、同項第2号には「当該年に於いて所得が著しく減少し、生活が困難となった者、これに準ずると認められる者」との規定があります。離職の状況では、本規定に合致すると解釈しますが、町長の見解をお伺いします。

【回答】新型コロナウイルスによる減免の適用になるか照会中

離職者に係る国民健康保険税条例第26条第1項の減免措置の解釈は、国民健康保険税減免取扱要綱別表2の規程により、前年の所得額が生活保護基準相当（一人当たり概ね11万円）の1.3倍以下である等、離職者でもそれぞれの状況に応じた審査が求められます。

なお、「新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に係る国民健康保険税の減免取扱要綱」の適用となるか北海道へ照会しているところです。

一般質問

5名の議員から一般質問がありました。質問・答弁を抜粋・要約して掲載しました。

主要施設の今後の展望は

総合的施設は検討していない

【藤山 大議員】

当町は、少子高齢化・人口減少に加え、コロナ感染症等により町の活力が低下している中で、各公共施設の老朽化による補修・耐震化など大きな問題を抱えている。

主要施設の次の点についての展望を町長に伺う。

・温泉の今後の展望は、建て替えか補修か？

・福祉センターの今後の展望は？

・新たな道の駅に関して答申は出ていると思うが、今後の道筋は？

・各施設を統合する総合施設について検討されたか？



藤山 大議員

【鳴海青春町長】

温泉は9月会議後の経済福祉常任委員会でも「方向性」の議論がなされる。その議会の意見を踏まえて、令和3年度から建設に向けた作業を加速したい。

福祉センターは耐震化改修の検討が必要であり、次期総合計画の策定にあたり、新たな道の駅構想と併せて議論を深めたい。

新たな道の駅は「基本計画策定委員会」より答申は受けているが、行政主導でなく、町民が作り上げるものと考えており、それが無ければ構想中止もやむを得ない。

各施設の統合については、公共施設維持保全計画の中では町内会館等の統廃合の検討はあったが、総合的施設については具体的に検討はしていない。

エコバッグの提供と更なるごみ減量化を

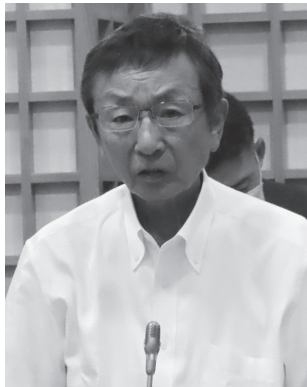
新型コロナ対策としてエコバッグを配付

【小鹿昭義議員】

「容器包装リサイクル法」や「家電リサイクル法」の施行に加え、本年7月から全国でプラスチック製買物袋の有料化が始まった。

廃棄物・資源制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの課題に対応する動きで、普段何気なく貰っているレジ袋を有料化することで私たちのライフスタイルを見直すきっかけとなることを目的としている。

町として、それらを踏まえた事業として買い物が或いはエコバッグを町民に提供してはどうか。ごみ減量化の更なる策も併せて伺う。



小鹿 昭義 議員

【鳴海青春町長】

レジ袋有料化に伴う町民へのエコバッグ配付については、新型コロナウイルス感染症防止対策備蓄品を、福島町をイメージしたロゴマーク入りの新たなエコバッグを作成し、配付することとしている。町広報などを活用し、エコバッグの普及率を高めるようなPRを積極的に展開したい。

ごみの減量化については、当町ではごみの搬出量が減少していない状況であり、町広報等でごみ資源化などの周知を図るとともに、集団資源回収によるリサイクルの促進など減量化に努めており、引き続き町内会・福島町ごみ減量化推進委員と連携し、町民の意識改革に向けた取り組みを推進する。

一般質問

岩部・浦和地区への公衆用トイレ設置

岩部は総合的な構想の中で検討する

【川村明雄議員】

岩部・浦和地区の現在のトイレは、設置の目的からその役割を果たし終えたとの判断は理解できるが、観光的要素が強まっている。

特に、来町者数が顕著な岩部地区は今後の見込みを勘案すると公衆トイレの必要性は必須である。両地区における訪問者の民家や民間企業者へのトイレ借用状況を聞くと今後の困惑は明らかであり、公衆用トイレ設置の方向で対策を願う。

また、維持管理の参考として、横綱ビーチの清掃協力金の状況を併せて伺う。



川村明雄 議員

【鳴海清春町長】

岩部地区は昭和51年建設（築44年）、浦和地区は昭和54年建設（築41年）で老朽化が激しく今年度解体する。

岩部地区については岩部クルーズの利用者は岩部交流センターのトイレを利用しているが、新たな観光客の入り込みも多くなっており、新たなトイレの必要性は認識している。今後、岩部地区の総合的な構想策定を計画しており、トイレについてもその中で検討する。

浦和地区は新設の考えはない。

横綱ビーチの清掃協力金は、平成29年度26千円、平成30年度41千円、令和元年度55千円となっており、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、開設期間を短縮したこともあり協力金はいらない。

新型コロナウイルスに伴う対応・対策

安心して過ごせる避難所運営に努める

【木村隆議員】

①新型コロナウイルスに感染した方が保健所の聞き取り調査において、居住地非公表を選択した場合であっても、当町の居住者であるという情報が通達されるか？
②インフルエンザとコロナの同時流行に備えて感染が疑われる患者受診の流れを身近な医療機関に変更すると報道されたが、町立診療所を持つ当町の考えは？

③台風10号の上陸で避難所は3密を防ぐため収容人数は半数となった。当町の3密を回避した避難所の運営を伺う。また各世帯の防災備蓄品の点検を啓発してはどうか。



木村 隆 議員

【鳴海清春町長】

①渡島総合振興局長より患者の住所地となる首長へ連絡が来る。

②町立診療所は、施設の構造や職員体制などを考えた場合、発熱患者等とその他の患者を分けることは困難であり、検査対応資材の確保が難しいことや院内感染のリスク等から電話による相談受付と診療・検査機関への案内が基本となる。

③住民意識の向上は重要であり、備蓄品の確保・点検などの啓発に努める。
避難所では、入り口での消毒やマスク着用、サーモグラフィーなどによる検温、簡易テント方式での個室のよきな空間を用意し、プライバシーが保たれ、また家族ごとに過ごせるなど、安心して過ごせる運営に努めた。

一般質問



平沼 昌平 議員

**新過疎法の見込みと見直しがあった場合の対応
見直し時は総合計画の聖域なき削減が必至**

【平沼昌平議員】
令和3年3月末で現行過疎法が失効する。当町は過疎債に依存する事業比重が多く、当町の総合計画事業の在り方、進め方に大きく影響するものと思慮する。

現時点での過疎法の動向或いは、新たな制度に向けた情報をどの程度把握しているのか？

さらに、現行法の最大の利点である借入元利金の7割を国が地方交付税で援助してくれるその割合が崩れることも視野に入れる必要がある。当町の今後の情報収集の在り方、見直しがあった場合の事業の進め方を伺う。

【鳴海清春町長】
現行過疎法は令和3年3月末で失効するが、国においては過疎対策の検証を行うとともに、検討を進める懇談会からの提言も受けている。

このような状況下で、都道府県をはじめ全国知事会、全国市長会・全国町村会等様々な団体から新たな過疎対策法制定に関する提言・要望などの活動が行われている。当町でも過疎対策事業債は町の振興を推進していくうえで欠くことのできない重要な財源であり、関係機関と連携を図り、情報収集に努めながら要請活動をはじめ必要な取り組みを進めたい。

現行と同様な支援策が叶わない場合は、後期実施計画の大幅な見直しは必至であり、聖域なき削減を図ることで財政の健全化を維持した運営に努めたい。

令和元年度 議会費の使われ方

(単位：千円)

区 分	H30	R 元	令和元年度の支出概要
報 酬	22,556	23,581	・歳費23,521 【月額歳費】議長278、副議長222、委員長201、議員187 ・諮問会議委員報酬60
給 料	11,907	10,582	・事務局職員3名分
手 当 等	15,316	15,726	・議員期末手当9,464 【議長1,407、副議長1,123、委員長(3人)3,051、議員(5人)3,883】 ・職員期末手当等6,262
共 済 費	15,095	13,370	・議員共済等負担金7,722、職員共済費5,040 ・臨時職員社会保険料等608
賃 金	2,068	2,079	・臨時職員賃金(1名)
報 償 費	100	0	・専門的審査、調査謝金
旅 費	1,324	1,207	・普通旅費555 ・視察研修旅費390 ・職員旅費124 ・同行旅費94 ・委員旅費33 ・委員費用弁償11
交 際 費	219	108	・祝儀14、土産5、後援20、協賛金13、会費51、接待費5
需 用 費	820	1,005	・消耗品費222 ・追録代13 ・購読料29 ・食糧費5 ・議会だより印刷製本費736
使用料・賃借料	162	163	・インターネットサーバスペース使用料40 ・議会インターネット中継回線利用料123
備品購入費	0	265	・デジタルカメラ、参画者席用マイク ほか
負担金・補助・交付金	1,027	1,006	・管内議長会等360 ・四町議員協議会120 ・議員公務災害補償組合負担金等69 ・政務活動費457
償還金・利子・割引料	4,327	4,324	・議会中継システム譲受代金年賦金1,107 ・議場等音響設備譲受代金年賦金3,217
合 計	74,921	73,416	※事務局職員3名分の給料等は「職員給与費」に計上されているため、議会費の決算額とは一致しません。



各議案の審議結果

- ・賛成が○、反対は×と表示しています。
- ・溝部幸基議長は採決には加わりません。

定例会 9 月会議採決の様子

会議名	議案番号	議 案	花田 勇	佐藤 孝男	平沼 昌平	木村 隆	川村 明雄	杉村 志朗	藤山 大	小鹿 昭義	平野 隆雄	審査結果
9月会議 (9/16～ 18)	18	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	19	町営住宅の設置・管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	20	第 5 次総合計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	21	北海道市町村総合事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	22	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	23	北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	24	令和 2 年度一般会計補正予算（第 5 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	25	令和 2 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	26	令和 2 年度介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	27	令和 2 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	28	令和 2 年度浄化槽整備特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	29	令和 2 年度国民健康保険診療所特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	30	令和 2 年度水道事業会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定1	令和元年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 認定
	認定2	令和元年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定3	令和元年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定4	令和元年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定5	令和元年度浄化槽整備特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定6	令和元年度国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定7	令和元年度水道事業会計利益の処分・決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

会 議 名	議 案 番 号	議 案	議 員 名								審 査 結 果
			花 田 勇	佐 藤 孝 男	平 沼 昌 平	木 村 隆	川 村 明 雄	杉 村 志 朗	藤 山 大	小 鹿 昭 義	
9月會議 (9/16～ 18)	同意1	教育委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 同意
	諮問1	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 適任
	報告2	令和元年度財政健全化判断比率の報告	○	○	○	○	○	○	○	○	報告 済み
	報告3	令和元年度教育に関する事務の管理、執行状況 の点検・評価に関する報告	○	○	○	○	○	○	○	○	
	発委6	松前半島道路の整備促進を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	発委7	国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見 書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	
	発委8	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財 政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求め る意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	

◆ 会議等出席状況 ◆

会議や議会へ通知があった行事等の8月から11月までの出席状況をお知らせします。
「○」は出席、「×」は欠席、「－」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠、「職」は正副議長長の職務出席を表しています。

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	花田 勇	佐藤 孝男	平沼 昌平	木村 隆	川村 明雄	杉村 志朗	藤山 大	小鹿 昭義	平野 隆雄	溝部
8月3日	議会基本条例諮問会議	－	－	○	－	－	－	－	－	○	○
13	令和2年度福島町成人式	－	△	○	－	○	○	○	○	○	○
18	渡島地域政策懇談会	－	－	○	－	－	－	－	－	○	○
31	総務教育常任委員会・経済福祉常任委員会連合審査会（新型コロナ交付金）	×	△	○	○	○	○	○	○	○	○
	経済福祉常任委員会（診療所、定例会9月会議後の所管事務調査）	－	△	○	－	－	－	○	○	○	○
9月1日	塩釜町内会館オープンセレモニー	－	－	－	－	○	○	○	○	－	○
3	総務教育常任委員会・経済福祉常任委員会連合審査会意見書手交	－	△	－	－	○	－	○	－	○	○
	経済福祉常任委員会意見書手交	－	△	－	－	○	－	○	－	○	○
4	渡島西部広域事務組合第2回定例会	－	△	－	－	－	○	－	－	－	○
5	健康フェスティバル	－	－	－	－	○	－	○	－	－	○
7	正副議長会議（定例会9月会議議案説明）	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○
	総務教育常任委員会（意見書、定例会9月会議後の所管事務調査）	○	－	－	○	○	○	－	－	○	○
8	一般質問通告	－	－	○	○	○	－	○	○	－	職
	議会運営委員会（定例会9月会議の運営）	○	○	○	－	○	－	－	○	職	職
10	議員勉強会（9月会議）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	定例会9月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	決算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	決算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会9月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員会総会	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
	森林・林業・林産業活性化議員連盟総会	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○

11 福島町議会だより

－ 第128号 令和2年12月1日発行 －

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	花 田	佐 藤	平 沼	木 村	川 村	杉 村	藤 山	小 鹿	平 野	溝 部
9月18日	議会運営委員会（定例会9月会議の反省）	○	○	○	—	○	—	—	○	職	職
	総務教育常任委員会意見書手交	—	—	—	—	○	—	—	—	○	○
19	福島幼稚園運動会	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○
27	認定こども園福島保育所運動会	—	—	—	○	—	—	—	○	—	○
10月5日	議会基本条例諮問会議	—	—	×	—	—	—	—	—	○	○
8	総務教育常任委員会（道立福島商業高校）	○	—	—	○	○	○	◎	—	○	○
9	経済福祉常任委員会（吉岡温泉）	—	○	○	—	—	—	○	○	○	○
13	経済福祉常任委員会（事務事業評価ほか）	—	○	○	—	—	—	○	○	○	○
14	総務教育常任委員会（事務事業評価ほか）	○	—	—	○	○	○	—	—	○	○
15	渡島廃棄物処理広域連合議会運営委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
19	総務教育常任委員会（総合計画の変更・公営選挙）	○	—	—	○	○	○	—	—	○	○
	総務教育常任委員会意見書手交	—	—	—	—	○	—	—	—	○	○
20	経済福祉常任委員会（総合計画の変更）	—	○	○	—	—	—	○	○	○	○
	経済福祉常任委員会意見書手交	—	○	—	—	—	—	—	—	○	○
23	渡島廃棄物処理広域連合議会第2回定例会	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—
28	総務教育常任委員会意見書手交	—	—	—	—	○	—	—	—	○	○
	経済福祉常任委員会意見書手交	—	○	—	—	—	—	—	—	○	○
11月2日	議会基本条例諮問会議答申	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
4～6	全国議員研修会議長出講（滋賀県大津市）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
9	総務教育常任委員会 〔所管施設視察、執行方針の取組み状況、定例会〕 〔12月会議後の所管事務調査〕	○	—	—	○	○	○	—	—	○	○
	福島町表彰式	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
10	七飯町議会視察受入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
13	松前町・西部四町議員研修会	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○
15	認定こども園福島保育所お遊戯会	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○
	町民芸術鑑賞会	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—
16	経済福祉常任委員会 〔所管施設視察、執行方針の取組み状況、新型コロナ〕 〔ナ、定例会12月会議後の所管事務調査〕	—	○	○	—	—	—	○	○	○	○
18	議会運営委員会（議会だより編集）	○	○	○	—	○	—	—	○	職	職
19～20	新過疎法制定実現総決起大会・定期総会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
24	総務教育常任委員会意見書手交	—	—	—	—	○	—	—	—	○	○
	経済福祉常任委員会意見書手交	—	○	—	—	—	—	—	—	○	○
26	議会運営委員会（定例会11月会議の運営）	○	○	○	—	○	—	—	○	職	職
	定例会11月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（定例会11月会議の反省）	○	○	○	—	○	—	—	○	職	職

町立診療所の経営状況について

【論点と意見】

医薬分業の検討と、町民利用に向けたP Rの強化を！

1 医薬品の適切な管理を！

医薬品の発注・管理については、診療所医師の指示の下、適切に管理しているとのことだが、医師任せにすることなく、担当課として責任をもって現状をしっかりと把握するべきである。健全経営を目指すためにも、医薬分業について検討を進められたい。

2 経営安定化に向けた取り組み、診療所利用促進の周知を！

特色ある町立診療所を目指し、家庭・町内福祉事業所・町立診療所が綿密に連携できる「訪問診療の構築」など福島町に合った経営をさらに検討されたい。

また、町立診療所の診療科目は、内科・小児科・消化器内科、禁煙外来、さらに、検査機器充実により各種検査や人間ドックを実施しているが、町民に向けたP Rをさらに強化し、利用促進を図られたい。

【調査概要】 令和2年8月31日開催

国民健康保険診療所「やまゆりクリニック」は、平成30年6月15日に開院、現在、医師・看護師など7名体制で運営している診療所です。開院後2年が経過したことから調査しました。



開院後2年の「やまゆりクリニック」

今後の吉岡温泉の方向性について

【論点と意見】

町民利用を主眼に、シンプル・コンパクトな温泉を！

1 総括的意見について

町が示した新築に係る基本的方向性は、理解した。

今後検討される施設については、少子高齢化が進む人口動態、利用実態の変化を勘案し、町民利用を主眼とし、シンプルな形状、コンパクトな規模を基本に、広く町民の声を反映させながら、後年時の経常経費圧縮に資する施設整備となることを強く望むとともに、現施設における下記の課題等解決の検討を進められたい。

- (1) 現施設の屋根雨漏りの原因究明～度重なる雨漏り
- (2) 湯量の確保と施設運営 ～湯量に応じた運営形態の検討
- (3) 利用者一人当たりコストの抑制～経常経費の抑制と合理的な経営管理

【調査概要】 令和2年10月9日開催

建築後26年の吉岡温泉は、雨漏りや老朽機器の修繕等をしながら現在に至っており、継続的に所管事務調査をしてきましたが、今後の吉岡温泉の方向性について調査しました。

第5次福島町総合計画の変更について

【調査概要】 令和2年10月20日開催
今年度のローリング作業に伴う後期実施計画の変更内容を調査しました。

【論点と意見】

民間移管を視野に良好な事業展開の試行を！

1 蝦夷アワビブランド化事業費

アワビの年間6万個の販売数量については、今後の民間移管等を視野に入れた設定とのことであり、人件費等経常経費節減、販売サイズや販売単価に対する購入者の意見聴取、市場価格の厳しい変動に基づく販売単価の検討など、今後の良好な事業展開のための試行作業を、さらに進めていただきたい。



陸上養殖の蝦夷アワビ販売会

道の駅再整備：将来を見据え慎重に検討を！

2 道の駅再整備事業

道の駅の再整備については、本年3月、町民等で組織した道の駅「横綱の里ふくしま」再整備基本計画策定委員会より再整備基本計画書が町に提出され、これに基づき令和3年度に事業内容検討、令和4年度から順次、基本構想・基本設計の策定等を進めるとのことである。

施設整備にあたっては、冬期間の利用や交通動態、地場産品の販売や他の道の駅との差別化など、福島らしい特色や課題に対する取り組みが強く求められるとともに、管理運営方法についても重要な検討事項となることから、事業内容の検討段階から将来を見据え、多くの町民に利用され親しまれる施設の在り方についても、慎重に検討・協議を重ねるべきと思慮する。



現在の道の駅「横綱の里ふくしま」(横綱記念館・駐車場・物産センター・トイレ)

吉岡温泉：現状に合った規模・形状で事業費圧縮・運営費抑制に連動する計画を！

3 吉岡温泉整備事業

現施設は、早い段階から雨漏りと修繕を繰り返してきた施設である。

新施設の整備にあたっては、長期的維持管理を視野に、町の現状に合った施設規模や形状、施設整備後の補償期間確認等、町の考え方を設計会社に的確に伝え、事業費の圧縮・運営費抑制に連動する計画を期待する。

学校給食における地元食材活用状況について

【論点と意見】

【調査概要】 令和2年7月20日開催

平成26年策定の「健康づくり推進計画」に基づく「児童生徒への地産地消を通じた食育の推進・食生活の指導等」の取り組みが進められている、学校給食における地元食材の活用状況を調査しました。

生産者が見える安心安全な地元食材の有効活用を！

1 地元産米等の使用拡大を

学校給食における地元産米の使用目標割合50%は、平成29・30年度では、ほぼ目標数値に近い割合となったが、令和元年度の使用量は約13%に止り、対応に疑義が残る。町・農協・教育委員会は諸課題を調整、地元農産物の納品体制を確立し、目標数値を高く掲げ、有効活用されることを強く望む。



収穫の秋（三岳地区の稲刈り風景）

2 水産物の一次処理検討で活用検討を

地元水産物の活用が少ない理由は、給食センターでの当日一次処理が難しく、処理済みの水産物を購入しているとのことだが、地元水産物の利用促進のため、一次処理している水産加工業者や漁業協同組合等と、学校給食の継続的利用と拡大について協議の機会を設けることが肝要と思慮する。

3 食育の推進について

従来から実施している食育授業の推進等を、さらに継続されたい。

道立福島商業高等学校の今後の在り方について

【論点と意見】

【調査概要】 令和2年10月8日開催

今年度の高校の入学者は8名で、令和3年度入学者が10人未満となった場合、入学者の募集停止となる可能性が出てきたため、今後の高校の在り方について調査した。

道立存続活動の推進と、児童数減少等の現状認識を！

1 令和3年度入学者10人以上確保の努力を

道立高校は、福島町にとって、子供たちの大切な高等教育の場であるとともに、町民の精神的支柱でもあり、地域に及ぼす経済効果も大きい。従来実施の各種支援事業、札幌・函館市内・渡島檜山管内中学校への募集パンフレットの送付継続と併せ、新たに全国募集による入学人数の確保等の検討を進めながら、当面の課題である入学者10人以上確保の努力を続けていただきたい。

2 中高連携の部活動の実施と特色ある学校づくりを

勉学とともに学校生活の重要な要素である部活動の積極的な中高連携、専門性を有する指導教員の確保、卒業生の地元雇用確保の支援等、特色ある学校づくりを検討・推進されたい。

3 総括的意見

町が示した「入学者の全国募集と寮の整備、地域密着型の教育課程等の検討」は理解するが、児童数減少等の厳しい現状を把握し、準備・検証を進められたい。

第5次福島町総合計画の変更について

【調査概要】 令和2年10月19日開催

今年度のローリング作業に伴う後期実施計画の変更内容を調査しました。

【論点と意見】

函館バスの車両更新は慎重に！

1 函館バス（松前木古内線）車両更新事業

今年度のバス更新事業は、「新型コロナウイルス感染症の影響で困難」とのことであるが、車両更新に際しては、国庫補助金の更新基準、函館バスの社内基準、実際の更新年数を実態調査し、安全な車両による地域交通の確保と、車両更新に係る財源負担の軽減の両視点から慎重に協議を進められたい。



朝の函館行きバスの様子（横綱記念館前バス停）

まちづくり工房：人的な組織体制を整えて主体的な経営を！

2 福島町まちづくり工房運営支援事業

町では、まちづくり工房の決算状況・今後の組織体制の構築を考慮し、令和3年度から令和5年度までの3か年間、財政支援を実施するとの内容であるが、本来的には、今後の工房の運営状況等の見通しを、理事会や総会で主体的に協議・検討した上で町に要望しなければ、工房設立の所期の目的である自立した組織としての運営が醸成されないと思慮する。

福島町議会議員・福島町長の選挙公営に関する条例について

【論点と意見】

定例会3月会議条例提案に向けて、さらに検討を！

【調査概要】 令和2年10月19日開催

公職選挙法が改正になり、選挙用自動車の使用料やポスター・ビラ等が、関係条例の制定により公費負担となることになりましたので、調査しました。

1 実態を踏まえて、公費負担の抑制を！

ポスターの公費負担額については、公職選挙法で定義されているが、条例制定を先行している道内市議会では、法規定の公費負担額を下回る市議会があり、また、前回の町議会議員選挙の実績を見ても、法規定の公費負担額を大きく下回っていることから、降雨時のポスター張替えの実態などを考慮したポスター掲示場数の乗率、先行町村条例や町の実態、公費負担の抑制等を視点とした再検討を強く望む。

2 選挙公報活用で十分役割を果たす！

平成15年の選挙公報発行を機会に、立候補者の申し合わせにより選挙用ハガキの使用自粛をしている。今回の法改正により、選挙用ビラ作成費が新たに公費負担の対象となったが、これも選挙公報の活用で十分役割を果たすことができると思慮されることから、公費負担の抑制を視点として、条例（案）からの削除を検討願いたい。

まずはじめに

令和2年6月に公職選挙法が改正になり、町長・町議会議員選挙も関係条例を制定することにより公費負担をすることができるようになりました。

①公費負担の種類

- ・選挙運動用自動車の使用（借入、燃料、運転手雇用等）
- ・選挙運動用ビラの作成
- ・選挙運動用ポスターの作成

②町村議会議員選挙でビラ頒布^{はんぷ}の解禁

③町村議会議員選挙に供託金制度の導入



疑問 なぜ公費で負担するの？

地方議会では議員のなり手が不足しています!!

議員になりたくても選挙をするにはお金がかかることから、選挙費用を公費負担することで立候補を喚起し機会均等を図ることを目的としています。

疑問 どれくらい公費で負担してくれるの？

公費負担の種類	公費負担の対象	限度額
選挙運動用自動車 (ハイヤー方式)	ハイヤー契約	1日 64,500円
選挙運動用自動車 (個別契約方式)	①自動車の借入れ ②燃料代 ③運転手の雇用	① 1日 15,800円 ② 7,560円×日数 ③ 1日 12,500円
選挙運動用ポスター	ポスター掲示板数	(525円6銭×掲示板数 + 310,500円) ÷ 掲示板数
選挙運動用ビラ	1,600枚	単価 7円51銭 × 1,600枚



上の表は国が定める基準ですが、選挙用ビラを条例化せず選挙公報の活用を図り、選挙運動用ポスターについても実績が法規定を大きく下回ることから、公費負担の抑制を目指した検討をしていく予定です。

疑問 供託金制度ってなに？

選挙に立候補する際に、法務局等へ決められた金額または金額相当の国債証書を支払う。当選もしくは決められた得票数以上であれば返還され、達していない場合は没収される。

町村議会議員選挙の供託金は15万円。(町村長は50万円)

連合審査会レポート

新型コロナウイルス感染症対策（第2弾：「国の第2次補正」）

— 総額92,445千円（交付金充当72,992千円） —

【調査概要】 令和2年8月31日開催

町の新型コロナウイルス感染症に係る「国の第2次補正」対応の地方創生臨時交付金事業については、定例会7月会議までに予算を補正し実施してきましたが、このたび、町より、第2弾の交付金対象事業（案）が示されたので、調査しました。

【論点と意見】

新たな支援内容の周知、感染防止対策の徹底を！

1 第2次補正予算に係る臨時交付金対象事業（第2弾）

(1) 地域間幹線系統木古内松前線維持奨励金交付事業について

今回の函館バス(株)に対する奨励金交付については、新型コロナウイルス感染症拡大の中、バス利用者の減少にも関わらず、バスの運行便数を減少することなく、地域生活の利便性を確保したことに対する奨励金であることは理解するが、特例的措置であることを明確に位置付け、J R 松前線廃止代替バス転換の主旨・経緯を踏まえ、恒常化されることの無いようにすべきと思慮する。

(2) 公共施設空気環境等整備事業

観光施設4か所に対する「オゾン除菌・脱臭機」設置は理解するが、吉岡温泉ゆとらぎ館についても、町内外の入浴客が利用することから、同様の機器を整備するべきと思慮する。

＊その他の支援事業

- ・地域商品券発行
- ・医療介護事業者支援
- ・水産加工業支援
- ・妊婦さん支援給付金
- ・健康管理システム導入
- ・高齢者生活支援
- ・高齢者インフルエンザワクチン接種等



観光・温泉施設へ設置予定の「オゾン除菌・脱臭機」のイメージ

2 第3次実施計画提出予定事業

「新たな日常」に必要な町内の光ファイバー未整備地区の整備については理解したが、災害や緊急通報等に重要な役割を担う携帯電話についても、町内の不感地域を調査の上、全町をカバーできる携帯電話網の構築について検討されたい。

3 総括的意見について

新型コロナウイルス感染症対策に係る現在までの取り組み・今後の交付金対象事業等については理解した。新たな支援事業の遺漏ない周知と、引続き基本的な感染防止対策の周知徹底に最善の努力を願いたい。

今後とも、国の動きを一早く把握し、新たな事業実施、実施計画の提出等、鋭意推進されたい。

議会諮問会議から答申



村山会長から溝部議長への答申書の手交

令和2年度の議会基本条例諮問会議は、調査審議を求める3項目について諮問され、2回（8月3日、10月5日）の諮問会議を経て、11月2日に答申書が村山会長より溝部議長に手渡されました。

○諮問された3項目の答申内容は次のとおりです。

1 調査審議を求める事項

(1) 議会評価（令和元年度分）の検討

議会基本条例第17条第1項の規定に基づき、1年ごとに実施し町民に公表している議会評価については、これまでの諮問会議からの答申を反映した評価内容等になっており、概ね適正に行われていると考える。より一層福島町発展のために住みよい町づくりと経済振興に力を入れていただいて、出来れば人口の増えることを考えていただきたい。

(2) 議会基本条例の見直し検討による行動計画の確認について

令和元年度の取り組みは、適正と認めるが、次の点について検討を希望する。

① 整理No.1「議員間討議の推進」

常任委員会では休憩中に論点・争点のとりまとめをしているが、委員会の記録に残す方策を検討してほしい。

② 整理No.6「議員勉強会の充実」

令和元年度からの議員主導の取り組みは大変良い姿勢であり、継続していけば大きな成果が得られると期待する。



(3) 常任委員会所管事務調査の内容確認について

〔調査事件：岩部クルーズ事業について〕

福島町まちづくり工房は、町が資金的・人的に関与するいわゆる第3セクターで、純粋な民間団体ではないところに複雑な問題がある。また、設立された工房が一本立ちできるように成長しなければかえって地域にとって重荷になる。行政と民間の中間に揺れる工房の今後の問題として、議会の指摘は概ね的確と思慮する。

〔調査事件：デマンドバス運行について〕

令和元年6月6日開催の総務教育常任委員会の委員会意見にある「各種バスの機能的集約による町民のための交通体系」の具体案を議会から政策提言することを期待する。また、今後の議論に向けては、スマホ利用等による予約等も制度の改善点になりうると思慮する。

議会による行政評価

町では、まちづくり基本条例に基づき行政活動を点検し、改善を図るため、令和元年度一般会計決算による行政評価（事務事業評価）を実施し、議会基本条例に基づく決算説明資料として議会に提出しています。

議会では、「福島町議会行政事務事業評価要綱」を定め、それぞれの事務事業について議会側の評価を示し、議会としてのチェック機能を強化するとともに、併せて翌年度の予算へ反映させることとしています。

全議員が1事業ずつ評価し、常任委員会ごとに調整した結果・評価方法は次のとおりです。

◎議会の行政評価結果概要

1. 経済福祉常任委員会の内容（R2.10.13開催）

評価は29件の事務事業で、町の最終評価は、「現状にて事業を継続又は拡充」とする「A」が25件、「事業の進め方の改善により継続」とする「B」が1件、「事業の規模・内容等の見直し検討」とする「C」が3件、となっています。

議会の評価結果は、「十分評価できる」とした「◎」が2件、「概ね評価できる」とした「○」が23件、「やや不足している」とした「△」が4件となりました。

2. 総務教育常任委員会の内容（R2.10.14開催）

評価は41件の事務事業で、町の最終評価は、すべて「現状にて事業を継続又は拡充」とする「A」となっています。

議会の評価結果は、「十分評価できる」とした「◎」が3件、「概ね評価できる」とした「○」が38件となりました。

【町の評価表】

低 → 高									
必要性+有効性									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	
C				A				5	達成度+効果性 ↑ 高 ↓ 低
								4	
								3	
								2	
D				B				1	
								0	
								-1	
								-2	

① 評価の分類

- A = 「現状にて事業を継続または拡充」
- B = 「事業の進め方の改善により継続」
- C = 「事業規模・内容等の見直しの検討」
- D = 「事業の抜本的見直しを検討」

② 評価表の見方

「必要性+有効性」の点数と「達成度+効果性」の点数が交差したところが評価となる。例えば、必要性+有効性が5点、達成度+効果性が1点の事業は「B」の評価となります。

【議会の評価方法】

議会行政事務事業評価要綱に基づき、全議員が各事務事業の内容を総合的に判断した4段階評価を行い、「議会の最終評価」と総合的な説明を加えて「議会評価」としています。

なお、平成27年度からは評価点数ではなく、行政で評価した内容と議員が認識している評価対象事業の内容を総合的に判断し、次の4段階評価としています。

「◎」 十分評価できる 「○」 概ね評価できる 「△」 やや不足している 「▲」 不足している

経済福祉常任委員会 所管事務事業

* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No. 15 戦没者追悼式事業	戦没者を追悼する式典を実施	5	1	B	A	A	A	○	遺族会とも協議のうえ、戦争の無い平和の誓いを行う行事として、引き続き防災無線を活用した全町的な黙とうをするなど、新たな展開を期待する。
No. 16 社会福祉	社会福祉団体への補助金 (社会福祉協議会外)	4	2	A	A	A	A	○	行政と社会福祉協議会が密接に連携し、引き続き高齢者や低所得者の生活安定のため、社会福祉業務全般について適切に執行願いたい。
No. 17 高齢者行事	敬老会の開催	5	2	A	A	A	A	○	全町的な行事の継続については評価します。今後とも趣向を凝らし参加者に楽しんでいただけるよう期待します。
No. 18 在宅福祉事業	老人クラブ連合会への補助	5	2	A	A	A	A	○	老人クラブの活発な活動に期待します。
No. 19 吉岡総合センター 管理運営	吉岡総合センターの維持管理	4	3	A	A	A	A	◎	利用者のニーズに合った適切な管理運営に努められたい。
No. 20 学童保育	授業終了後の保育に欠ける 学童の保育	6	2	A	A	A	A	○	保育体制を確保の上、教育委員会と連携し、特色を持った運営を期待する。
No. 21 ごみ減量化対策	家庭から排出される生ごみの 自家処理機購入に対する 助成	7	0	B	C	C	C	△	可燃ごみ排出量は減少しておらず、現場の声を聞き、町民に対する生ごみの水切り徹底、無駄なごみを出さない生活様式の改善を徹底指導するよう検討されたい。 3Rの周知徹底（リデュース、リユース、リサイクル）
No. 22 保育所	福島保育所の運営 (定員60名)	7	3	A	A	A	A	○	教育委員会と連携し特色のある認定こども園の運営を期待する。年齢バランスを考えた正職員の採用を検討願いたい。
No. 23 社会福祉総務	社会福祉団体活動支援、温泉優待券配布、寝たきり老人介護者手当支給	6	3	A	A	A	A	○	社会福祉業務全般について、適切に執行願いたい。
No. 24 重度心身障がい者等 タクシー料金助成事業	病院等へ通院するためのタクシー料金の一部を助成	5	3	A	A	A	A	○	引き続き適切に執行願いたい。
No. 25 老人福祉	希望者に対する、緊急通報システム機器設置	6	3	A	A	A	A	○	検証を行い、高齢者に対する利便性のある事業として一本化することもある必要ではないか。
No. 26 健康づくり推進	健康づくり推進員の配置や健康フェスティバルの開催等による町民の健康増進	7	3	A	A	A	A	○	健康づくり推進員と保健師が連携しながら、日常生活の中で健康に対する意識の醸成を促す活動に力点を置かれたい。
No. 27 医療対策 (保健衛生総務)	在宅当番医制運営事業への負担金、保健師等に対して修学資金貸付	5	1	B	A	A	A	○	毎年度貸付実績がない状況であることから、その要因を分析し、今後の対応を検討すべきである。
No. 28 医療対策 (医療対策)	子ども医療費に係る福祉医療システムの管理、日曜当番医制による町民健康保持	7	3	A	A	A	A	○	広域的な取り組みを進められたい。
No. 29 老人保健	脳障害等の罹患者の退院後の日常生活の資質向上を図るため健康教育等やリハビリ教室を実施	7	3	A	A	A	A	○	町立診療所と連携した在宅リハビリを充実させるための検討をされたい。 (作業療法士等の配置)

21 福島町議会だより

－ 第128号 令和2年12月1日発行 －

経済福祉常任委員会 所管事務事業

* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No. 30 活性化センター管理運営	「あづま〜る」施設の維持管理	6	2	A	A	A	A	○	地域文化の活動拠点としての利用と、食や歴史等の町内外への情報発信を期待する。
No. 31 多面的機能支払交付金事業	多面的機能支払交付金事業を実施している団体への活動経費の交付	5	2	A	A	A	A	○	地域活動組織と連携し、円滑な事業展開を期待する。
No. 32 熊等による被害対策	熊等の有害鳥獣の被害防止と危険個所の巡回	7	3	A	A	A	A	○	ハンター後継者の確保に努力し、捕獲後の処理負担を軽減するための協力体制の構築と助成金の増額を検討すべき。
No. 33 利子補給事業	漁業者への貸付に対する融資機関への利子補給	8	5	A	A	A	A	○	関係機関と連携し、円滑に事務を進められたい。
No. 34 水産加工振興協議会補助	協議会の運営に対する補助	6	3	A	A	A	A	○	原料不足と価格高騰のため、当該補助の検証をしながら、基幹産業に対する強力な振興策を検討願いたい。
No. 35 水産多面的機能発揮対策事業	水産業が持つ多面的機能を発揮させるために活動している組織への支援	5	2	A	A	A	A	○	活動組織と連携し、円滑な事業展開を期待する。
No. 36 漁村環境改善総合センター運営	福島・吉岡漁村環境改善総合センターの管理運営	6	1	B	C	C	C	△	福島については、改修し現状維持に努められたい。吉岡については、老朽化により使用休止していることから評価対象から除外すべきである。
No. 37 労働者支援	雇用保険の手続き、職業紹介等の労働支援	9	3	A	B	A	A	△	福島職業援護相談所は解散したが、職業紹介等の効果的な事業の改善、新規事業の工夫を期待する。
No. 38 地場産業開発研究事業	地場産業開発研究会への補助金の交付	3	1	D	C	C	C	△	事業の硬直化、固定化が見られるため、現状をしっかりと分析し、効果的な事業の改善や新規事業の工夫が必要。また、設立趣旨を再認識し、構成団体・事業者の主体的な参画を喚起する対応が必要である。
No. 39 観光振興	観光協会への補助、広域的観光協議会との連携事業、プロモーション及び物販イベント等でのPR事業	8	3	A	A	A	A	○	当町の観光事業の実態として、観光協会やまちづくり工房の単独での体制確保は困難であり、早期に町の方針を示し、体制充実を図るよう指導・助言されたい。
No. 40 横綱記念館管理運営	千代の山・千代の富士の二人の横綱の出身地として、「横綱の里」のシンボル施設の管理運営	5	2	A	A	A	A	○	九重部屋あつての記念館ということを意識し、貴重な資料を無駄にすることなく両横綱の偉業を顕彰し、大切に引き継いでいくことを期待する。購買グッズの充実についても検討されたい。
No. 41 特産品センター管理	特産品販売施設の管理運営（スルメ、コンブ）	5	3	A	B	B	B	○	道の駅としての評価が低い現状を踏まえ、内容充実を図るための再検討が必要である。
No. 42 青函トンネル記念館管理運営	青函トンネルの工事記録や技術情報等のトンネル文化を後世に伝える施設の管理運営	7	2	A	A	A	A	○	情報発信が不足している。イベントも含めて積極的な施設の利活用を考え、第2青函トンネル構想などの企画展示に積極的に取り組まれたい。
No. 43 街灯料助成事業	街路灯設置及び街灯料の助成	7	2	A	A	A	A	◎	他の公共施設等のLED化も期待する。

総務教育常任委員会 所管事務事業

* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No. 1 会議録調整	臨時職員1名を雇用し会議録を作成	5	2	A	A	A	A	◎	目標期間の短縮を図り、引き続き迅速な会議録の作成を期待する。
No. 2 情報公開	議会だより発行、議会ホームページ運用経費ほか	6	2	A	A	A	A	◎	引き続き住民に興味を持って見てもらえるよう、更なる工夫を期待する。
No. 3 職員研修	職員の研修計画に基づいた研修の実施	5	3	A	A	A	A	○	知識研修、接遇研修、専門的研修の質的向上を図り、メンタルヘルスの研修も検討願いたい。
No. 4 車両管理	公用車両の適正な管理	4	3	A	A	A	A	○	引き続き各車両の整備点検を進め、前後録画できるドライブレコーダーの全車完全設置を進められたい。
No. 5 交通安全対策	町民に対しての交通安全啓発活動	5	3	A	A	A	A	○	指導員の高齢化に対処する体制づくりと、効果的な啓発の更なる工夫を図られたい。
No. 6 町民運動対策 (青少年外)	青少年問題協議会の開催、松前地区防犯協会への助成金の交付	5	3	A	A	A	A	○	全町的な運動展開になっていない。犯罪・非行の防止のための情報発信に努めてもらいたい。
No. 7 インターネット事業	役場庁舎及び外部公共施設のインターネット環境の維持保全	4	3	A	A	A	A	○	引き続きセキュリティ対策に努め、Wi-Fi環境の整備、インターネット利用拡大の取り組みを期待する。
No. 8 ホームページ管理	ホームページを運用し町民等へ行政情報を発信	5	2	A	A	A	A	○	統計資料等の基本的事項や行事内容を積極的に発信するよう努められたい。また、検索が容易にできるよう検討されたい。
No. 9 生活館等管理	町内14町内会館の適正な維持管理	6	3	A	A	A	A	○	公共施設維持保全計画の基本方針に基づき、施設の維持等適切な措置と有効活用を期待する。
No. 10 災害対策	防災機器の整備、防災資材確保、防災訓練等による住民の安全な生活環境の維持	7	2	A	A	A	A	○	個別受信機の良い利用のため継続的なメンテナンスが必要。特に、千軒地区の抜本的な雑音対策を更に検討されたい。
No. 11 防災備蓄品整備事業	福島町災害用備蓄計画に基づき、防災備蓄品や防災資機材の整備・更新	6	3	A	A	A	A	○	災害発生時、遅滞なく対応できる備蓄品の更なる整備を期待する。
No. 12 町内会連合会助成	福島町町内会連合会の活動を支援するための助成金の交付	7	3	A	A	A	A	○	住民参加を目指した住民活動の統一的な組織体制を検討されたい。
No. 13 文書広報	町広報誌の発行	6	3	A	A	A	A	○	今後とも町民に分かりやすい広報誌の発行に努めるとともに、ちらしの集約化等を検討されたい。
No. 14 バス待合所管理	バス待合所の維持管理(5カ所)	5	4	A	A	A	A	○	今後も利用者にとって快適な施設の維持管理を期待する。

総務教育常任委員会 所管事務事業

* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No. 44 教育委員会	教育に係る事務事業等の推進、教育課題の解決に向けた方策を検討等	10	3	A	A	A	A	○	今後とも町の教育の状況を的確に把握し、活発な議論が展開されることを期待する。
No. 45 教育関係団体・大会 参加助成	教職員団体への助成、児童生徒の全道・全国大会参加費用の助成、学校給食費の無償化	8	3	A	A	A	A	○	各種団体等の状況等を十分把握し、助成事務を執行されたい。
No. 46 福島商業高等学校存 続対策	入学時の奨励金や検定受験等の助成ほか	7	2	A	A	A	A	○	高校と連携の上、魅力ある学校づくりに邁進されたい。
No. 47 友好町交流事業	長野県木曽町、長崎県松浦市との中学生交流	7	4	A	A	A	A	○	三市町交流事業を推進するとともに、新たな地域との交流の展開を期待する。
No. 48 A L T 招致	英語指導助手 2 名招致	7	4	A	A	A	A	○	引き続き英語教育の充実に努力されたい。
No. 49 児童生徒輸送	児童生徒の通学、学校行事、各種大会参加等への輸送	9	3	A	A	A	A	○	現状の児童生徒送迎等を維持されたい。
No. 50 就園・就学奨励援助	特別支援学級奨励費、要・準要保護就学援助費の交付	8	4	A	A	A	A	◎	引き続き対象世帯の経済的負担を支援されたい。
No. 51 奨学金貸付	経済的理由により高校、大学等に就学が困難な学生への奨学資金貸付	7	4	A	A	A	A	○	国の動向を見ながら、給付型奨学金の検討を進められたい。
No. 52 基礎学力向上支援事業	基礎学力の向上が必要な科目に臨時教員採用し、チームティーチングを実施、小中教諭の先進地視察研修	6	4	A	A	A	A	○	時代の流れに応じた独自の支援策を展開されたい。
No. 53 教員住宅整備事業	教員の生活拠点となる住環境の整備・管理	5	3	A	A	A	A	○	引き続き計画的な整備を進められたい。
No. 54 私立学校振興	私立幼稚園への管理運営費の助成金交付	6	4	A	A	A	A	○	幼児教育の充実が図られている。人口割合による目標数値の改定が必要である。
No. 55 小学校管理	小学校の適正な管理運営、学校施設等の維持整備、ICT教育に必要な環境の整備及び関係機器の保守管理	10	3	A	A	A	A	○	児童が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化対応等に努められたい。
No. 56 中学校管理	中学校の適正な管理運営、学校施設等の維持整備、ICT教育に必要な環境の整備及び関係機器の保守管理	10	2	A	A	A	A	○	生徒が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化対応等に努められたい。
No. 57 学校給食センター	児童・生徒への学校給食の充実	8	3	A	A	A	A	○	米等の地域食材の利用割合を上げ、メニューに工夫を加え、残さず食べられるおいしい給食の提供に努められたい。

総務教育常任委員会 所管事務事業

* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No. 58 学校給食センター施設維持管理	学校給食センターの施設・設備等の維持管理	7	4	A	A	A	A	○	給食の提供に支障のないよう、安心安全な維持管理に努められたい。
No. 59 社会教育総務	社会教育委員会議等活動運営費、スポーツ・文化活動功績者の表彰、各種学級、講座等	6	2	A	A	A	A	○	町の社会教育の状況を的確に把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
No. 60 読書活動	図書室の運営（福祉センター内）	11	4	A	A	A	A	○	これからも、より町民に親しまれるような運営を期待する。
No. 61 成人教育	各種講座開催、ブックスタート事業・高齢者学級の運営、ふくしま女性の会・PTA連合会の運営費助成	7	3	A	A	A	A	○	異世代間の交流が図られているが、引き続き住民ニーズを把握し、リーダー養成に努められたい。
No. 62 青年教育	教育委員会主催の成人式、実行委員会（新成人）主催の成人祭の開催運営助成	7	4	A	A	A	A	○	成人式の在り方の検討を進めるとともに、青年教育の新たな展開を検討されたい。
No. 63 少年教育	小中高生を対象とした青少年主張大会、吉岡小学校学校開放事業、少年対象講座の開催	7	3	A	A	A	A	○	通学宿舎や福島学ジュニアなど、新しい事業も取り入れているが、さらに積極的な展開を期待する。
No. 64 芸術・文化	芸術鑑賞事業、町民文化祭を主催する文化団体協議会への助成	7	4	A	A	A	A	○	新たな展開を期待する。
No. 65 文化財保護	歴史講座の開催、埋蔵文化財の保存と啓蒙、文化財の保存と公開展示、文化財保存団体への助成	8	4	A	A	A	A	○	チロップ館を活用した専門的な文化財保護活動を期待する。
No. 66 保健体育総務	スポーツ推進会議の開催、各種社会体育事業、各団体への運営費助成	6	2	A	A	A	A	○	町の保健体育の状況を的確に把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
No. 67 総合体育館運営	総合体育館施設の維持管理運営	6	3	A	A	A	A	○	利用者の視点に立った維持管理に努められたい。
No. 68 町民プール運営	町民プール施設の維持管理運営	7	3	A	A	A	A	○	町民プールの有効活用を進められたい。
No. 69 ファミリースポーツ公園管理	ファミリースポーツ公園施設の維持管理運営（パークゴルフ場）	6	1	B	B	B	A	○	利用者が高齢化等で減少する中で、児童生徒等の利用を促進する事業、利用拡大の検討をされたい。
No. 70 福祉センター運営	福祉センター施設の維持管理運営	5	3	A	A	A	A	○	音響設備の点検・整備等、施設の適切な維持管理に努められたい。

来年度の評価に向けて【両委員会共通意見】

現状の評価方法の達成度・効果性では適切な評価とならない項目も見受けられるため、評価シートの見直しを始めとした評価方法全般の改善と、目標設定のハードルを上げるなどの検討を更に進められたい。
また、評価は予算のみでないで、事務事業名については、「費」を省くべきと考慮するので、検討願いたい。

町民の声

福島町と共に



導とうみ街信用金庫福島支店長
松井 沙織さん

四月より福島支店に赴任となり半年が過ぎました。知内町出身の私にとって福島町は馴染み深く、温かい町民の皆様のお陰で充実した日々を送っております。

福島支店は昭和28年の開設以来、地域の皆様と共に歩んで参りました。

現在、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症拡大により、日常生活や地域経済に大きな影響を与え、いまだに収束の目途が立っておりません。このような状況の中、当金庫の経営理念である「三方よし」(お客様よし、地域よし、金庫よし)の理念の下、「地域のホームドクター」として福島町の経済をサポートし、地域の皆様から必要とされ続ける金融機関を目指してまいりますので、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い致します。

議員の雑感

核のゴミについて思う事



総務教育常任委員長
川村 明雄

寿都町と神恵内村が揺れている。高レベル放射性廃棄物(核のゴミ)問題である。自治体としては町の将来を鑑み、文献調査だけで20億円という交付金に頼るが、一時の財源は未来のまちづくりにまで繋がらない。

北海道議会は10月2日に冷静な議論を求める決議をしている。

東京電力福島原発で起きた災害は記憶に新しい。

一度災害が発生すると廃炉に途方もない時間と費用を要する。我が国は火山列島の上にある島国。原発被災は住民の生活を壊滅させる。

私はかねてよりクリーンエネルギーを主張している。管内では10月16日、八雲町に民間建設の太陽光発電(メガソーラー)が営業運転を始めた。年間発電量は一般家庭約2万8千世帯分という。太陽光や風力発電への期待も高まっている。

議会の主な会議・行事予定

※変更・追加となる場合もあります。

12月2日(水)	一般質問通告 議会運営委員会 ・定例会12月会議の運営ほか	午前10時～午後2時 午後3時～	委員会室
7日(月)	12月会議勉強会	午後1時30分～	議員控室
9日(水)	定例会12月会議	午前10時～	議会議場
10日(木)	定例会12月会議	午前10時～	議会議場
11日(金)	定例会12月会議	午前10時～	議会議場
1月20日(水)	議会運営委員会 ・議会だよりの編集	午後1時30分～	議員控室

編集後記

朝晩の冷え込みが厳しくなり、今年も残すところあと一か月となりました。

今年は一年を通して新型コロナウイルスの話題で持ちきり、楽しみにしていた各種行事やイベントが次々と中止・延期になるなど暗い話題ばかりで我慢を強いられる年となってしまう。一日でも早い終息を願うばかりです。

今回の議会だより第128号は、定例会9月会議と、各会計の決算審査等を中心にお届けしました。

次回(令和3年2月1日発行)は、定例会12月会議を中心に紹介する予定です。少し早いですが皆様良いお年を。



北方領土返還要求運動
シンボル「千島桜」